

第112回 訪問介護事業者連絡会 議事録

日時；平成29年11月9日(木) 19:00~20:30

場所；福祉センター 地区社協活動室

出席者；藍原・神田・岸本・山川・渡

オブザーバー；樽井氏・宮本氏

欠席；桜井・砂川氏 書記；山川

1) 高齢者いきいき課からのお知らせ・・・宮本氏

訪問サービスAの説明会でのアンケートの質問に対して、こういうふうに変更するという予定を、ホームページに載せている。

- ① 処遇改善加算はあり。
- ② Oと、Aの併用は出来ない。
- ③ 同行訪問は、市が何処かの事業所に委託する方向になったが、今年度中は、予算が無いので、不可能。支援サポーターとして、1ヶ月、5回以上経験のある方は同行不要で、直ぐサービスに入れる。
- ④ 老計10の座学をサポーター養成講座に加えなければならないが、まだ講師が決まっていない。
- ⑤ 現在、諸々の法の整備をしているところ。

2) 「へるぱーの部屋」更新状況について・・・神田

第110回(9月分)・・・10月11日にアップされていた。

3) 研修企画委員会の報告・・・渡

来年、三者合同研修会・・・平成30年1月26日開催

プランと計画書の整合性⇒11/16 最終的に決定する。

過去の研修会・・・課題整理総括表について

居宅サービス計画と個別サービス計画の連動

4) 今後の研修、茶の間の予定等

先に行なわれた支援機構の理事会と他の場で、中野課長より、通所の連絡会と比べて、訪問介護は連絡会の活動の内容が見えてこないと言われた。現在、訪問の連絡会は、シリ貧状態。

研修会をやろうにも、係りの負担が大きすぎる。

「もう少し、形を変えてみれば？」という坂本氏からの提案もあった。

逗子を例にとって⇒管理者、サ責、と関係なく、こういうことをやりたい！という人が自由に出られればいいのではないか。毎回出て来れなくてもいいし、もっと、フレンドリ

でもいいのではないか、介護保険に対し、どのように対応していったらいいか、話しあうのもよい。

●とりあえず、今年度で、世話人のこのメンバーは、クローズする。

- もう少し、訪問介護の本質に迫るような情報交換の場に出来ないだろうか？
- 市の方から、もう一回声掛けをしてもらいたい。
- 原点に帰って、其れに則って、運営の仕方等、もう一度きちっと作り変えていくことが必要なのではないだろうか・
- こういう風にして欲しいと思っている人も、それを言いずらかったのではなかつたらうか？
- 訪問介護の仕事の内容も変わってきているので、訪問介護の立ち位置も明確にすることが必要。訪問介護の意義を話しあう機会が必要なのではないか、自分の立ち位置が不安になっている時に、行政の方とも関われることは、ありがたいし、もっと、充実させていきたい。ただ、その方向性を決めていくことは非常に重要。
- 訪問も、プロフェッショナル集団でなければならない。
- 訪問介護の専門性とは何か？
- 訪問介護を良くしようと思っている人が集まってくると思うので、そういう方向性に進めたい。
- ケアマネからオーダーがきたとき、ケアマネに対して、別の提案を言えるような訪問介護でなければならない。
- 今年度で一旦連絡会を解散するが、組織のあり方を考えたい。
- 市としては、皆の勉強する場を増やして欲しい。(文書の管理の仕方、加算をとる際の勉強会等)
- ケアマネの不均一に対する利用者の不満が一番多い。ヘルパーに対しての苦情はそれほどでもない。
- ヘルパーの勉強する機会が増えるのが望ましい。
- ここで話したことを、次回に形にすることが大切。
- 1月の三者合同研修会で、H30年度からの連絡会について、報告を行う。

◎次回までに・・・各人、これからの連絡会の形を考えてくる。

渡・・・「坂本先生に会って、逗子の話を聞いてみる」

◎「先ずは、どういう会にしていきたいか・・・」

次回 第113回 世話人会 平成29年 12月 14日 木曜日

時間：19：00～20：30

場所：福祉センター 地区社協活動室

書記：渡、藍原